

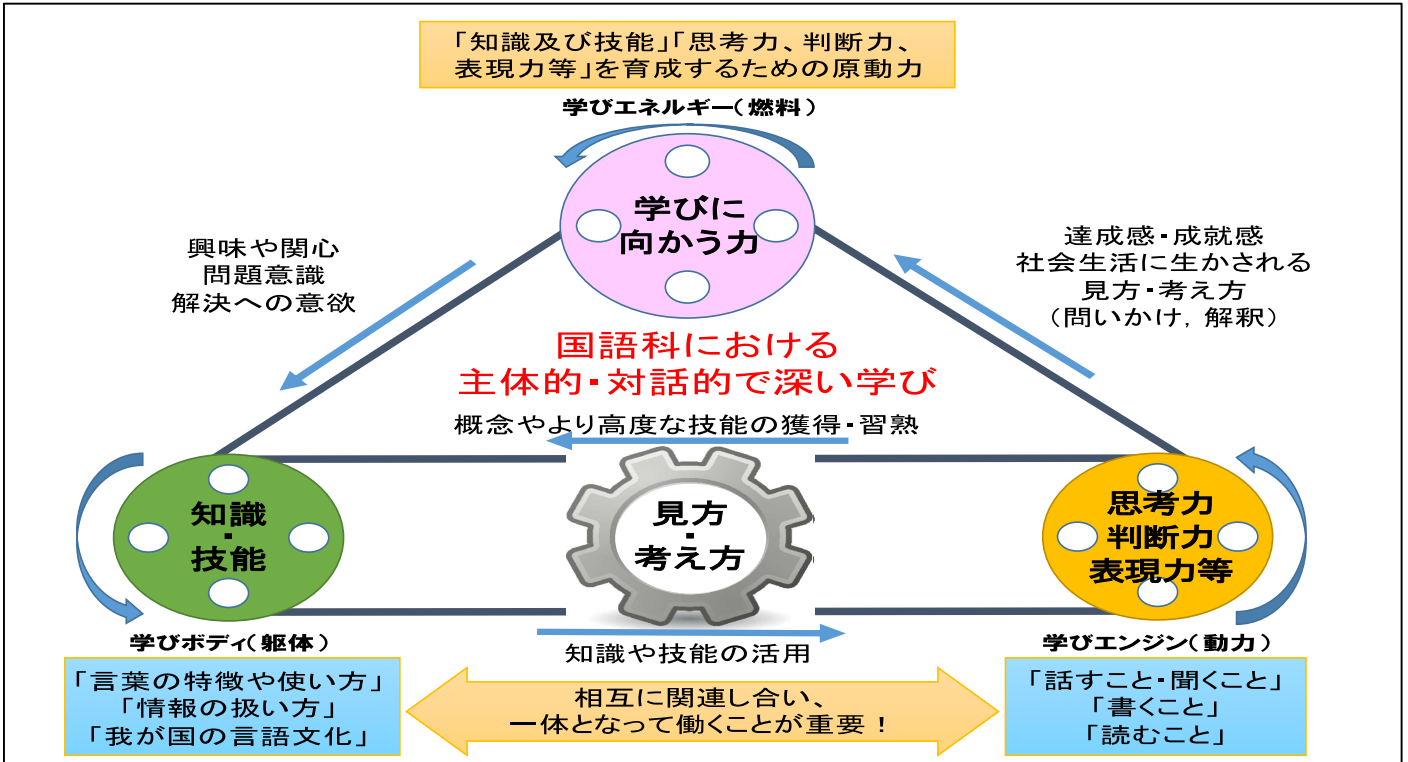
主体的・対話的で深い学びのある国語科授業づくり

菊池 勇希

① 国語科で育成を目指す資質・能力

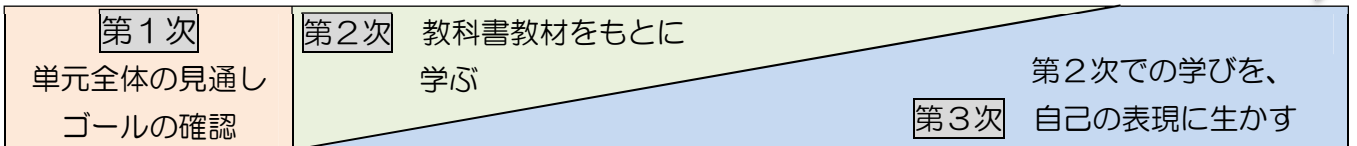
国語で**正確に理解し適切に表現する**資質・能力

② 国語科における主体的・対話的で深い学びのイメージ



③ 国語科における単元構想モデル

単元を通して、ゴールに向かって考えることや表現することへの思いをふくらませる！



※上記はモデルです。児童の実態や身につけさせたい資質・能力によって変わることもある。

④ 各領域における学習過程

A 話すこと・聞くこと (以下は「話すこと」の学習過程)



B 書くこと



C 読むこと



※学習過程≠指導過程。資質・能力を身につけるためにどのように授業を組み立てるかが重要。

※指導過程は第1時で示すなどして、児童が見通しをもって学習に取り組めるようにする。

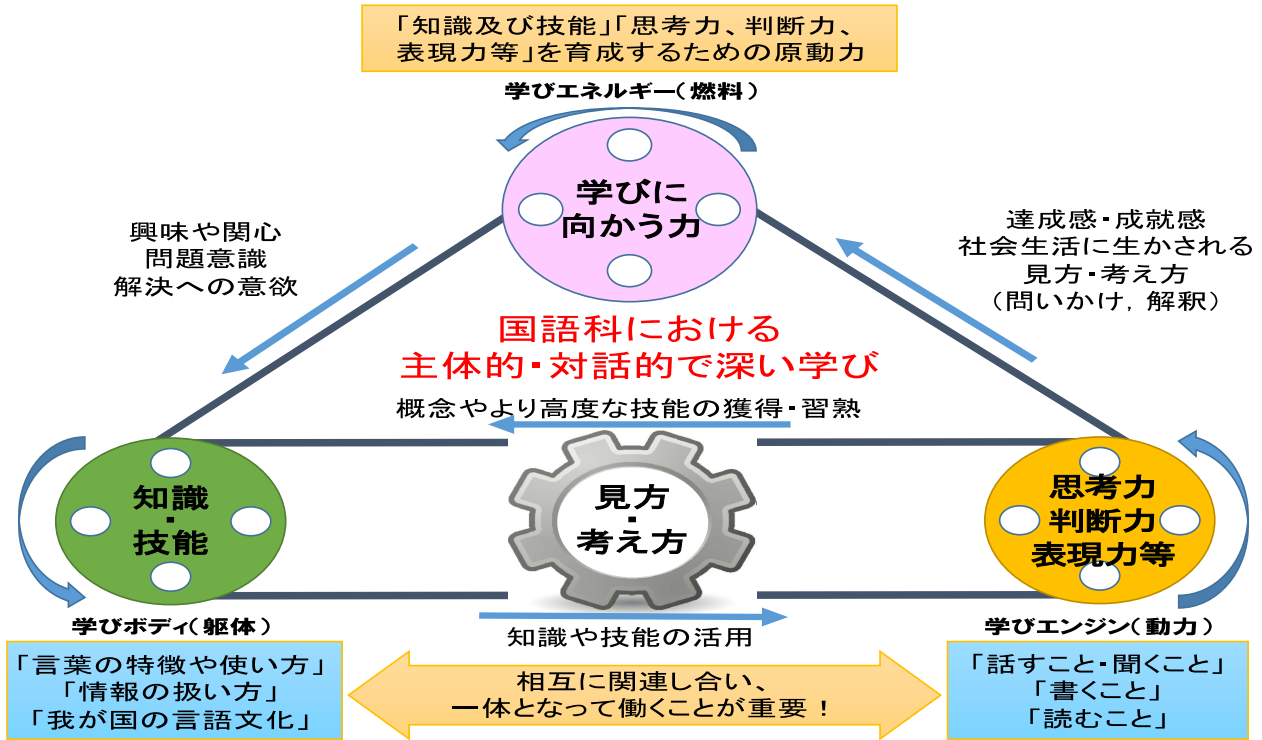
主体的・対話的で深い学びのある国語科授業づくり

名寄市立名寄南小学校 教諭 菊池 勇希

① 国語科で育成を目指す資質・能力

国語で**正確に理解し適切に表現する**資質・能力

② 国語科における主体的・対話的で深い学びのイメージ



③ 「言葉による見方・考え方」(国語科は「見方・考え方」で1セット)

言葉で表される話や文章を、意味や働き、使い方などの言葉の様々な側面から総合的に思考・判断し、理解したり表現したりすること(捉える)。また、その理解や表現について、改めて言葉に着目して吟味すること(問い直す)。

参考: 学習指導要領(平成29年度告示) 解説国語編 第4章の1

※指導事項が身につくこと + 「見方・考え方」を働かせること = 深い学び? A 評価?

⇒授業者の感覚的なものではない、妥当性のある評価につながるのでは?(斜体部は、あくまで菊池の私見)

④ 「話すこと・聞くこと」における学習過程

① 話すこと



② 聞くこと



③ 話し合うこと



※学習過程≠指導過程。資質・能力を身に付けるためにどのように授業を組み立てるかが重要。

※指導過程は第1時で示すなどして、児童が見通しをもって学習に取り組めるようにする。